

Asia Indicators

発表日: 2021年5月28日(金)

台湾、4月までは生産・雇用に底堅さを確認 (Asia Weekly(5/21~5/28))

~マレーシア、生活必需品の物価上昇でインフレ率は4年強ぶりの水準に加速~

第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 西濱 徹 (Tel: 03-5221-4522)

○経済指標の振り返り

発表日	指標、イベントなど	結果	コンセンサス	前回
5/21(金)	(マレーシア)4月消費者物価(前年比)	+4.7%	+4.9%	+1.7%
	(香港)4月消費者物価(前年比)	+0.7%	--	+0.5%
5/24(月)	(台湾)4月鉱工業生産(前年比)	+13.62%	--	+16.06%
	4月失業率(季調済)	3.71%	--	3.72%
5/25(火)	(シンガポール)1-3月実質GDP(前年比・改定値)	+1.3%	+0.9%	+0.2%*
	(インドネシア)金融政策委員会(7日物リバースレポ金利)	3.50%	3.50%	3.50%
5/26(水)	(ニュージーランド)4月輸出(億NZドル)	53.7	--	57.0
	4月輸入(億NZドル)	49.8	--	56.6
	金融政策委員会(政策金利)	0.25%	0.25%	0.25%
5/27(木)	(韓国)金融政策委員会(政策金利)	0.50%	0.50%	0.50%
	(香港)4月輸出(前年比)	+24.4%	--	+26.4%
	4月輸入(前年比)	+25.2%	--	+21.7%
5/28(金)	(マレーシア)4月輸出(前年比)	+63.0%	+52.4%	+31.0%
	4月輸入(前年比)	+24.4%	+19.9%	+19.2%

(注) コンセンサスは Bloomberg 及び THOMSON REUTERS 調査。灰色で囲んでいる指標は本レポートで解説を行っています。※は改定値

[台湾]~4月までは生産及び雇用を取り巻く環境は良好な推移が続いたが、一変するリスクが高まっている~

24日に発表された4月の鉱工業生産は前年同月比+13.62%となり、前月(同+16.06%)から伸びが鈍化した。前月比も▲1.27%と前月(同▲1.46%)から2ヶ月連続で減少しているものの、中期的な基調は拡大傾向を維持するなど底堅い展開が続いている。主力の輸出財である液晶パネルやコンピュータ関連に底堅い動きがみられるほか、自動車をはじめとする輸送用機器関連の生産も堅調に推移している一方、主力の輸出財のひとつである半導体関連の生産に底入れの動きが一服しているほか、石油化学製品をはじめとする化学関連の生産鈍化の動きも全体の重石となっている。なお、台湾では今月に入って以降、感染力の強い変異株による新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の感染が再拡大する動きが顕在化するなか、行動制限が再強化される事態となるなど幅広い経済活動に悪影響が出ており、底入れの動きを強めてきた生産活動に一段と下押し圧力が掛かる可能性が高まっている。

また、同日に発表された4月の失業率(季調済)は3.71%となり、前月(3.72%)から0.01pt改善した。失業者数は前月比▲0.1万人と前月(同▲0.1万人)から5ヶ月連続で減少しており、中期的な基

調も減少傾向を強めている上、新卒者のみならず既卒者についても失業が減少するなか、自発的失業以上に非自発的失業が急速に減少している動きも確認出来る。一方の雇用者数は前月比+0.5万人と前月（同+0.8万人）から6ヶ月連続で拡大しており、中期的な基調も拡大傾向を強めるなど底入れしており、雇用を取り巻く状況は改善の勢いを強めている。製造業関連では依然として雇用調整圧力がくすぶる展開が続く一方、建設業やサービス業で雇用拡大の動きが広がっており、観光関連や医療関連サービス分野で改善の動きが強まっている。ただし、足下では変異株による新型コロナウイルスの感染再拡大の動きが広がっており、行動制限が再強化される事態となるなど、一転して雇用調整圧力が強まること懸念される。

図1 TW 鉱工業生産の推移

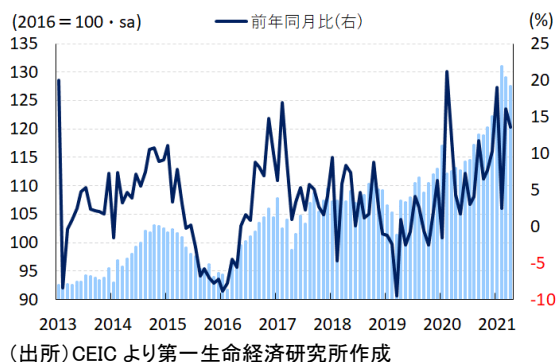
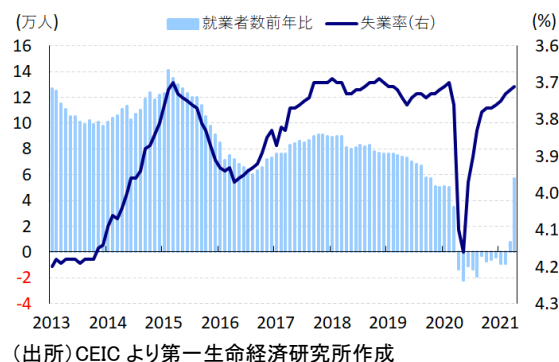


図2 TW 雇用環境の推移



[マレーシア]～生活必需品を中心にインフレ圧力が高まるなか、インフレ率は4年強ぶりの高水準に加速～

21日に発表された4月の消費者物価は前年同月比+4.7%となり、前月（同+1.7%）から加速して4年1ヶ月ぶりの高い伸びとなった。ただし、前月比は+0.16%と前月（同+0.33%）から上昇ペースが鈍化しているものの、生鮮品を中心とする食料品価格は上昇傾向を強めているほか、昨年後半以降における国際原油価格の底入れの動きを反映してエネルギー価格は上昇傾向が続くなど、生活必需品で物価上昇圧力が高まる動きがみられる。なお、食料品とエネルギーを除いたコアインフレ率は前年同月比+0.66%と前月（同+0.66%）から同じ伸びで推移しており、前月比も+0.08%と前月（同+0.17%）から上昇ペースも鈍化している。幅広く財価格に下押し圧力が掛かる動きがみられる一方、サービス物価に押し上げ圧力が掛かるなど対照的な状況にあるものの、先行きについては変異株による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の感染再拡大の動向などに左右される展開が予想される。

28日に発表された4月の輸出額は前年同月比+63.0%となり、前月（同+31.0%）から伸びが加速した。前月比も+3.2%と前月（同+3.2%）から3ヶ月連続で拡大しており、中期的な基調も拡大傾向を強めるなど底入れの動きが進んでいる。世界経済の回復が進んでいることを受けて主力の輸出財である電子部品関連の輸出が押し上げられているほか、原油や天然ガスをはじめとする国際商品市況の底入れの動きを反映して資源関連輸出も堅調に推移するなど、幅広い分野で拡大の動きが続いている。一方の輸入額は前年同月比+24.4%となり、前月（同+19.2%）から伸びが加速している。前月比も+3.2%と前月（同+3.9%）から3ヶ月連続で拡大しており、中期的な基調も拡大傾向で推移するなど輸出同様に底入れの動きが続いている。輸出の堅調さを反映して素材及び部材など中間財関連の需要が堅調な推移をみせているほか、資本財や消費財の輸入も底堅く推移している。結果、貿易収支は+204.76億リング

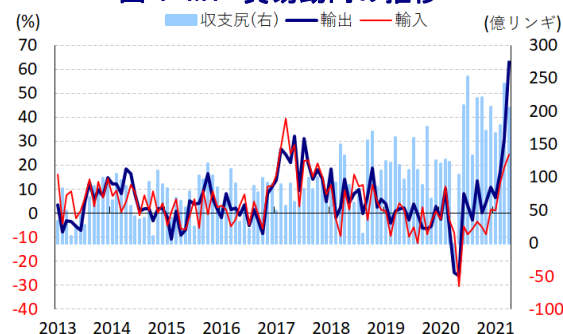
と前月（+241.52億ドル）から黒字幅が縮小している。

図3 MY インフレ率の推移



(出所)CEICより第一生命経済研究所作成

図4 MY 貿易動向の推移



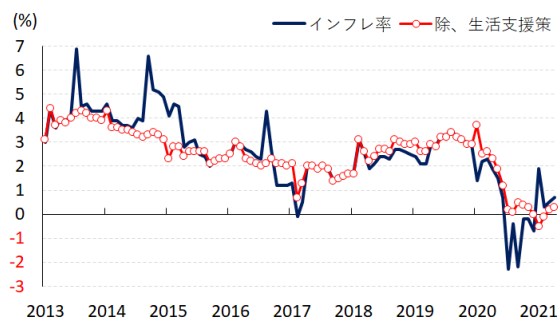
(出所)CEICより第一生命経済研究所作成

[香港]～緩やかにインフレ圧力が強まる動きがみられるなか、輸出入共に一段と底入れの動きが続く展開～

21日に発表された4月の消費者物価は前年同月比+0.7%となり、前月（同+0.5%）から伸びが加速した。前月比も+0.45%と前月（同+0.00%）から2ヶ月ぶりの上昇に転じており、生鮮品をはじめとする食料品価格は下落する一方、昨年後半以降の国際原油価格の底入れの動きを反映してガソリンなどエネルギー価格は上昇するなど、生活必需品を巡る物価の動きはまちまちの状況にある。なお、香港では2007年以降断続的に公営住宅を対象とする賃料減免措置をはじめとする生活支援策が実施されており、その影響を除いたベースでは前年同月比+0.3%と前月（同+0.2%）からわずかに伸びが加速している。前月比も+0.44%と前月（同+0.09%）から上昇ペースが加速しており、エネルギー価格の上昇に伴い輸送コストに押し上げ圧力が掛かっていることを反映して幅広く財価格に上昇圧力が掛かっているほか、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の感染収束による経済活動の正常化が進んでいることを反映してサービス物価にも押し上げ圧力が掛かっており、全般的に物価上昇圧力が高まっている。

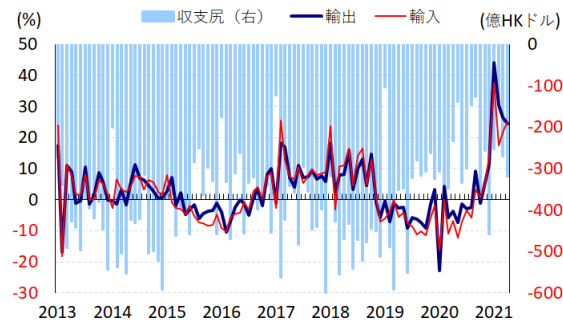
27日に発表された4月の輸出額は前年同月比+24.4%となり、前月（同+26.4%）から伸びが鈍化した。ただし、当研究所が試算した季節調整値に基づく前月比は2ヶ月ぶりの拡大に転じている上、中期的な基調も拡大傾向で推移するなど底入れの動きが続いている。中国本土経済に加え、欧米をはじめとする主要国の景気回復の動きが続いていることを反映して輸出が押し上げられる展開が続いており、アジア域内における貿易活発化の動きも輸出を下支えしているとみられる。一方の輸入額も前年同月比+25.2%となり、前月（同+21.7%）から伸びが加速した。前月比も2ヶ月ぶりの拡大に転じている上、中期的な基調も拡大傾向で推移するなど輸出同様に底堅い動きが続いている。中国本土景気の堅調さに加え、国際商品市況の底入れの動きが続いていることも輸入を押し上げる展開となっている。結果、貿易収支は▲317.76億HKドルと前月（▲269.67億HKドル）から赤字幅が拡大している。

図5 HK インフレ率の推移



(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

図6 HK 貿易動向の推移



(出所)CEIC より第一生命経済研究所作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任を負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。